

令和6年度 日光市PTA連絡協議会報

日光市PTA連絡協議会
令和7(2025)年1月発行

★新旧役員会及び定期総会

令和6年5月13日、日光市役所本庁舎会議室において、日光市PTA連絡協議会新旧役員会を開催しました。

令和5年度事業報告・決算・監査及び、令和6年度事業案・予算案について、定期総会前に新旧役員の皆様にご審議いただきました。



令和6年5月24日、日光市役所東庁舎会議室において、日光市PTA連絡協議会定期総会を開催いたしました。各単位PTAの代表の皆様にご審議いただき、議案について無事可決されました。



令和5年度の役員の皆様、1年間お疲れ様でした。

令和6年会長に選任された柏木会長（今市中学校PTA）のもと、新体制による運営が始まりました。



「日光市の子どもたちのために頑張ろう！」新役員の皆様

★令和6・7年度栃木県PTA連合会「研究PTA」に猪倉小学校PTAが決定しました。

「研究PTA」事業は、児童生徒の健全育成を最大の目的として、栃木県内の単位PTAや市町PTA協議会が2か年の継続研究を実施し、研究成果を会員に伝達・周知することを通じて、PTA活動の活性化を目的として実施されております。

令和6・7年度の2か年について、猪倉小学校PTAが研究PTAとして栃木県PTA連合会より委嘱され、PTA活動の研究を実施いたします。



猪倉小学校PTA福田会長（左）と栃木県PTA連合会揚石会長（右）

★わが家の「スマホルール」宣言推進事業

スマートフォンを使ったSNSやオンラインゲームなどインターネット利用の多様化が進み便利になった反面、家族との会話やふれあいの減少、生活習慣のみだれ、さらにはSNSをきっかけとした犯罪やいじめに発展するおそれもあります。



そこで、スマートフォン等と上手に付き合いながら、温かな人間関係・親子関係を築き、子どもたちの健やかな成長を目指し、日光市PTA連絡協議会では、わが家の「スマホルール」を募集、令和6年度は565点の応募をいただきました。その中からアイデア賞5点を選出しました。

アイデア賞については、各ご家庭に配布される令和6年度わが家の「スマホルール」宣言リーフレットをご覧ください。

QRコードを読み込むと、アイデア賞を日光市ホームページ内のPTA連絡協議会のページで見ることができるよ！



★第72回日本PTA全国研究大会川崎大会 (関東ブロック大会合同開催)



ウェルビーイングの実現を、川崎の地から

～活かそう「縁」の力～

《寄稿文》今市中学校PTA会長 柏木純一

はじめに

この度、川崎の地で第72回となる日本PTA全国研究大会が開催され、日光市PTA連絡協議会を代表して参加させていただきました。

「出会い」や「学び」得るものが非常に多く、大変貴重な機会となりました。

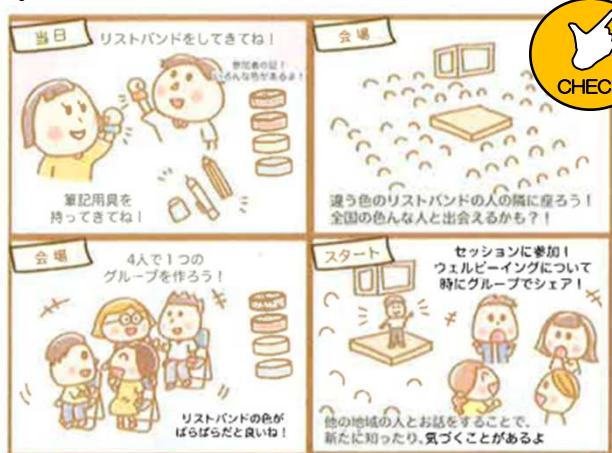
この学びを1人でも多くの方と共有できるようにレポートという形で残させていただきました。その熱量をお伝えするのは非常に難しいですが、少しでもスピーカーたちの思いが届き、皆様の今後の活動、生き方にプラスになれば幸いです。



栃木県PTA連合会での集合写真

今回の研究大会では、人と人の縁を繋ぎ、意見交換することで、様々な考えを学ぶ。それらを踏まえ、今後自らの行動を宣言することで、明るい未来へとつなげる。

入場時に1つのルールが設けられた。各地域ごと異なるカラーのリストバンドをして、異なるカラーの方と会場に座る。通常繋がることはない他地域との交流が図られた。



過去の全国大会では、初日「分科会」ということで、会場別にテーマを設け、興味があるところへ参加する形をとっていたが、本年は両日同じ会場開催。さらにはアリーナを使用した360度の公開ステージ。非常に見やすく一体感のある演出だった。

今回のキーワードとなるのは「ウェルビーイング」「2日間の学びを得て各々が描くウェルビーイングを持ち帰ってください」という投げかけで2日間の全国研究大会が幕を開けた。

2日間にわたる学び

●特別第1

～全国のPTAの縁をいかし力強く進める教育環境改善への提言～

●全体基調講演

(日本PTA)

～誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて～

(認定NPO法人フリースペースたまりば理事長 西野 博之 氏)

●特別第2

～大人が変われば子どもも変わる！ウェルビーイングの社会実装～

(トーキョーコーヒー代表 吉田田 タカシ 氏)

●セッション①

～多様性を認め合う心豊かな社会を目指して～

(犬蔵小学校PTA会長 村上 和弘 氏)

●セッション②

～子ども達といっしょに自己肯定感を高め合う家庭教育の大切さ～

(川崎市立南加瀬小学校PTA会長 クローラン悦子 氏)

●セッション③

～地域や社会ひ広げるウェルビーイング！住み続けたいまちへ～

(石川県PTA連合会会長 堀 潤氏)

全国大会に参加して

「どうすれば多くの方がPTA活動において意欲的な姿勢で臨んでくれるのか」「どうすれば子ども達のために、よりよい環境を作ってあげるか」PTA活動に携わってから、常に心の中に抱いていた思いでした。

今回この全国大会の中で、スピーカーや参加者などの様々なお話を伺って、まずは自分が見ている土俵の狭さを痛感しました。私は、我が子が在学校内、しかも自分が関わる部分でしか視野を持っていませんでした。心のどこかで「PTA活動＝校内」という縛りを作っていたのでしょうか。そんな私に「Well-being」という言葉は深く心に突き刺さりしました。

自分の周囲、子どもだけでなく、親や家族、地域を巻き込みながら、みんなが持続的にもてる幸福

「大人たちが住みやすい環境でなければ、子どもたちは住みにくい。」

「大人たちが生きやすい世の中でなければ、子どもたちは生きにくい。」

まずは私達が持続的に暮らしやすい環境を作り上げること、これらが子ども達のためにつながる。

個々の持つ価値を尊重し合い、周囲との連携を図りながら、誰もが生きやすい環境づくりをPTA活動を通じ育んでまいりたいと感じました。

今回参加させていただき多くの学びを得られたことに感謝し、この経験を今後の活動に繋げていきたいと思ひます。